

- 問1 鳥取県のように地方税による収入が少ない自治体であっても、学校の建設や道路整備といった大規模な公共事業を行う必要があります。このような、一度に多額の費用がかかり、かつ将来の住民も利用する施設の建設費を賄うために、自治体が国や銀行などから借り入れる資金を何といいますか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 住民税

2. 地方債

3. 地方交付税交付金

4. 国庫支出金
- 問2 江戸幕府が鎖国下の長崎において、中国（清）やオランダとの貿易を継続させた目的として、当時の宗教政策の観点から説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2018年 福島県公立入試 類似)
1. 鎖国によって海外との交流を完全に断絶し、日本の自給自足体制を完成させるため

2. キリスト教の布教を徹底的に排除しつつ、海外の物資や情報を管理・入手するため

3. 中国やオランダを通じて、東南アジア諸国へキリスト教を輸出するため

4. キリスト教を日本独自の宗教と融合させ、新たな国教として普及させるため
- 問3 19世紀初め、江戸幕府が会津藩などの東北諸藩に対して蝦夷地への出兵・警備を命じた背景として、当時の国際情勢を説明した記述として正しいものはどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
1. ロシアが領土や通商を求めて南下政策を進め、千島列島や蝦夷地近海での活動を活性化させていたため。

2. 清（中国）がロシアとの国境紛争に敗れ、北方から逃れた難民が蝦夷地に押し寄せる危険があったため。

3. アメリカが捕鯨船の薪水補給を目的として、松前藩に対して函館の開港を武力で迫っていたため。

4. イギリスがアヘン戦争に勝利した勢いで、日本の北方に新たな植民地を建設しようと計画していたため。
- 問4 「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり」という有名な一節から始まり、人は生まれながらに平等であると述べる一方で、現実の社会において賢い人と愚かな人、貧しい人と富める人の差が生じるのは、学問をしたかしないかによるものであると説いた明治時代の著作は何ですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 『文明論之概略』

2. 『西洋事情』

3. 『民約訳解』

4. 『学問のすゝめ』
- 問5 1789年に採択されたフランス人権宣言において、行政の支出をまかなうための「共同の租税」が認められた背景として、当時の社会状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 三権分立が徹底されており、立法権を持つ議会が行政の支出を完全に停止させていた。

2. すべての国民に参政権が与えられていたため、納税の義務を廃止して自由な経済活動を促進しようとしていた。

3. 国王が国民の私有財産を自由に没収できる制度があったため、それを正当化するために租税の概念が導入された。

4. 平民が聖職者や貴族を背負って支えるような不平等な社会構造があり、特権階級の免税特権が批判されていた。
- 問6 地方公共団体の財政において、国が道路の建設や義務教育といった特定の仕事に対して、その費用の一部を負担するために支出する資金の名称と、その性質の説明として正しいものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 地方交付税交付金 ― 特定の政策を進めるために国から支払われ、使い道が指定されている。

2. 国庫支出金 ― 自治体間の財政格差をなくすため、使い道が制限されずに交付される。

3. 国庫支出金 ― その使い道が特定の事業に限定されている。

4. 地方交付税交付金 ― 地方議会が制定した条例に基づいて、国から全額が支給される。
- 問7 北海道の石狩平野では、かつて稲作に適さない水分を多く含んだ泥炭地が広がっていました。この土地を農地に変えるために、他の場所から性質の異なる土を運び入れ、もとの土と混ぜ合わせて土壌を改良する方法が行われました。この技術の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 輪作

2. 干拓

3. 開拓

4. 客土
- 問8 日本国憲法の制定に際し、祝日の制定プロセスが「天皇による決定」から「国会による法律での決定」へと変化した背景を説明した次の文章の空欄（①）～（③）に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを選びなさい。
「戦後、日本国憲法が施行され、主権が天皇から国民に移る（①）が確立した。これに伴い、国民の休日は天皇の命令ではなく、国民の代表機関である（②）が議決する（③）によって定められることとなり、新たに『こどもの日』などが設けられた。」 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. ①国民主権 ②国会 ③法律

2. ①地方自治 ②最高裁判所 ③規則

3. ①平和主義 ②外務省 ③条約

4. ①天皇主権 ②内閣 ③政令
- 問9 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 登呂遺跡

2. 三内丸山遺跡

3. 吉野ヶ里遺跡

4. 岩宿遺跡
- 問10 社会保障制度の持続可能性を高めるための調整について、医療保険の保険料を引き下げる代わりに、医療機関で支払う窓口負担（自己負担の割合）を大きくする措置をとった場合、社会保障の財政状況はどうなると考えられますか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
1. 「社会保障給付費」が少なくなり、税や保険料などの「国民負担」も小さくなる。

2. 「社会保障給付費」が多くなり、税や保険料などの「国民負担」も大きくなる。

3. 「社会保障給付費」が少なくなるが、税や保険料などの「国民負担」は大きくなる。

4. 「社会保障給付費」が多くなるが、税や保険料などの「国民負担」は小さくなる。
- 問11 宮崎市などの九州地方太平洋側において、夏から秋にかけての降水量が福岡市などの日本海側と比べて著しく多くなる背景として、適切な理由の組み合わせはどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 対馬海流の影響、南西から吹く乾燥した季節風、およびシベリア高気圧の発達

2. 寒流である親潮の影響、北西からの冷たい季節風、および梅雨前線の長期停滞

3. 暖流である黒潮の影響、南東からの湿った季節風、および台風の通り道にあたること

4. リマン海流の影響、日本海側から山を越えて吹き下ろす乾いた風、および移動性高気圧の通過
- 問12 663年の白村江の戦いにおいて、日本が百済の復興を支援したものの唐・新羅の連合軍に敗北した出来事は、その後の日本の国家づくりに大きな影響を与えました。この敗戦を受けた当時の日本の対応として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 新羅と対抗するために、それまで対立していた高句麗と軍事同盟を結んで朝鮮半島へ再進出した。

2. 唐や新羅の侵攻を恐れ、大宰府の北側に水城を築き、各地に山城を作って防衛を強化した。

3. 唐との国交を完全に断絶し、遣唐使の派遣を停止することで海外の争いから距離を置いた。

4. 敗戦の責任を問い、中大兄皇子を退位させて、新羅から受け入れた仏教を中心とした政治に切り替えた。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 地方債	地方自治体が負う借金のことを「地方債」といいます。公共施設の建設費用を単年度の税収だけで賄うのは難しいため、借金をして何年もかけて返済していく形をとります。これにより、その施設を将来利用する世代にも費用を負担してもらうという、世代間の負担の公平性を確保する意味合いも含まれています。
問2	答え 2 キリスト教の布教を徹底的に排除しつつ、海外の物資や情報を管理・入手するため	幕府はキリスト教の布教を禁じる一方で、中国の産物である生糸や、西洋の学問・技術といった有用な物資や情報を必要としていました。そこで、布教を行わないことを条件に中国やオランダとの窓口を長崎に限定し、幕府の厳格な統制のもとで貿易を継続させました。これにより、禁教と実利の確保を両立させようとしてしました。
問3	答え 1 ロシアが領土や通商を求めて南下政策を進め、千島列島や蝦夷地近海での活動を活発化させていたため。	当時のロシアは、冬でも凍らない港の確保や領土拡大を目指す「南下政策」を推進しており、千島列島から蝦夷地周辺へと勢力を伸ばしていました。ラクスマンやレザノフといった使節の来航だけでなく、ロシア人による北方での紛争も発生したため、幕府は自ら直接支配に乗り出し、東北地方の諸藩に命じて大規模な警備体制を敷くことで防衛を図りました。
問4	答え 4 『学問のすゝめ』	欧米の思想を日本に紹介した啓蒙思想家である福沢諭吉による著作です。封建的な身分制度を否定し、個人が学問によって自立（独立）することが、国家の独立にもつながると主張しました。中江兆民がルソーの思想を紹介した『民約訳解』などと混同しないよう注意が必要です。
問5	答え 4 平民が聖職者や貴族を背負って支えるような不平等な社会構造があり、特権階級の免税特権が批判されていた。	当時のフランス社会の風刺画には、重税に苦しむ平民（第三身分）が、特権を享受する聖職者（第一身分）や貴族（第二身分）を背負って歩く姿が描かれるほど、身分間の負担の差が激しいものでした。フランス人権宣言は、こうした特権階級のみが有利な構造を否定し、国民全体で公的な支出を分担することを宣言しました。
問6	答え 3 国庫支出金 — その使い道が特定の事業に限定されている。	特定の事業（土木、教育、社会福祉など）に対して国が費用の一部を補助する資金は国庫支出金と呼ばれます。これに対し、自治体ごとの財政力の差を埋めるために配分されるのは地方交付税交付金であり、こちらは使い道が制限されないのが特徴です。出題のケースは特定の仕事への費用負担であるため、前者の説明が適切です。
問7	答え 4 客土	石狩平野などの低湿地には、枯れた植物が腐敗せずに堆積した「泥炭地」が多く分布しており、そのままでは水はけが悪く養分も乏しいため、稲作には向きませんでした。そこで、別の場所から肥沃な土や砂を運んでくる「客土（きゃくど）」という技術が大規模に行われました。これにより土壌の質が向上し、現在のような大規模な稲作地帯へと発展した歴史があります。選択肢にある「干拓」は海や湖を陸地にすること、「輪作」は同じ土地で異なる種類の作物を交互に栽培することを指します。
問8	答え 1 ①国民主権 ②国会 ③法律	戦前の大日本帝国憲法では天皇が統治権を総攬する天皇主権でしたが、戦後の日本国憲法では国民主権が基本原則となりました。そのため、国家の重要なルールである祝日の設定も、国民の代表者で構成される唯一の立法機関である国会が、法律（国民の祝日に関する法律）を成立させることで行う形に民主化されました。この法律によって「こどもの日」や「成人の日」が新たに誕生しました。
問9	答え 2 三内丸山遺跡	青森市にあるこの遺跡は、縄文時代中期から約1500年もの長期間にわたって継続した大規模な拠点集落です。それまでの縄文時代のイメージを大きく変える高度な建築技術や、計画的な集落の配置が確認されました。選択肢にある吉野ヶ里遺跡や登呂遺跡は弥生時代の代表的な遺跡であり、岩宿遺跡は旧石器時代の打製石器が発見されたことで知られています。
問10	答え 1 「社会保障給付費」が少なくなり、税や保険料などの「国民負担」も小さくなる。	医療保険の保険料を引き下げるとは、国民が直接・間接的に支払う「国民負担」を小さくすることを意味します。一方で、窓口での自己負担を増やすことは、公的に支出される「社会保障給付費」を削減することにつながります。この組み合わせは、国家全体としての社会保障の規模を縮小し、低福祉・低負担の方向へ調整を行うことを示しています。
問11	答え 3 暖流である黒潮の影響、南東からの湿った季節風、および台風の通り道にあたること	九州南部の太平洋側で降水量が多くなる要因は、大きく分けて3つあります。1つ目は、付近を流れる暖流の黒潮が水蒸気を供給すること。2つ目は、夏に太平洋高気圧から吹き込む湿った南東の季節風が、九州山地などにぶつかって上昇気流を発生させること。3つ目は、夏から秋にかけて台風が接近・上陸しやすく、短期間に記録的な豪雨をもたらすことです。これらが重なるため、福岡市などの北部よりも降水量が非常に多くなります。
問12	答え 2 唐や新羅の侵攻を恐れ、大宰府の北側に水城を築き、各地に山城を作って防衛を強化した。	白村江の戦いでの敗北は、日本列島への直接侵攻の危機を招きました。中大兄皇子は防衛の拠点として九州に大宰府を整備し、その守りとして水城や大野城などの城を築きました。また、都を内陸の近江大津宮（滋賀県）へ移すとともに、全国的な戸籍の作成（庚午年籍）を進めるなど、中央集権的な国家体制の構築を急ぐきっかけとなりました。